

## 令和5年中の火災の概要について（東京消防庁管内）

★火災件数は4,330件でした（前年より377件増加）。

★火災による死者は86人（前年より3人減少）で、そのうち65歳以上の高齢者は58人でした。

★火災による負傷者は750人（前年より8人増加）で、そのうち65歳以上の高齢者は237人でした。

★主な出火原因の上位3位は、「たばこ」が661件で最も多く、次いで「放火（疑い含む）」が640件、ガステーブル等が377件でした。

### ～令和5年中の火災の特徴について～

★住宅・共同住宅等から出火した火災件数。

⇒建物から出火した火災は2,976件（前年より198件増加）で、住宅・共同住宅等から出火した火災は1,669件（前年より63件増加）。住宅・共同住宅等以外の建物から出火した火災は1,307件（前年より135件増加）。

★電気設備機器による火災件数の増加。

⇒電気設備機器による火災件数は1,512件（前年より45件増加）で、全火災においても約3割以上（34.9%）を占めています。

★たばこによる火災件数の増加。

⇒たばこによる火災件数は661件（前年より92件増加）で、令和2年以降500件台を推移していましたが、600件台へ大幅に増加しています。